

宮崎型高軒高ハウス設計事業 仕様書

1 目的

本県施設園芸の新たな高生産性体系を確立するため、本県の気象条件等に合った、低コストで軒が高い新たなハウスの設計を専門業者等に委託し実施する。

2 委託内容

- (1) 宮崎県に適した普及型の高軒高ハウスの設計
- (2) その他業務の実施に当たって必要な事項

3 ハウス仕様の条件等

- (1) 面積 3,000㎡程度
- (2) 規格 軒高3.5m以上、間口6～9m、奥行き50～100m
(間口、奥行きは必ずしも規格を限定しない)
- (3) 耐風速 50m/s以上の風速に耐えることができる強度
- (4) 目標価格 20,000円/㎡以内

※価格はハウス本体を建設するために必要な価格
(付帯施設は含まない)

価格に含まれるものは、部材費（ハウス本体資材、換気資材、被覆資材）、標準工事費（部材費にかかる建方費）、諸経費

※目標価格は、必ずしも達成することを責務としない

※補足

目標価格（20,000円/㎡）には、ハウス本体の資材、被覆（外張り・ネット）資材、妻面・側資材、二重（カーテン）資材、自動開閉装置等の部材費及びそれらに係る施工費とする。

- (5) 見積もり 実勢に基づいた価格（入札時価格）で記載
- (6) その他 養液栽培、ハイワイヤー栽培、複合環境制御装置による天窓等の自動開閉・暖房システム・炭酸ガス発生装置等を管理を想定、屋根の被覆資材にはフッ素樹脂フィルム等を採用し採光性を考慮するなど、低コストかつ高生産性、耐久性等に配慮したものとする

4 事業実施に係る経費

当該事業の経費については、全て受託者の負担とする。

ただし、県が別途必要と判断した経費についてはその限りではない。

5 委託期間

契約締結の日から平成30年3月31日

7 成果品等

- (1) 成果報告書 3部
 - 1) ハウス設計書（図面を含む）、パース図（外観2点以上）及び見積書

- 2) ハウス構造計算書（(一社) 日本施設園芸協会「園芸用施設安全構造基準」に準拠するものとするが、協会への確認は義務づけない)
 - 3) 国内に導入されている高軒高ハウスとの相違点や設計の工夫点についての説明書（できる限り、一般の方でも理解出来る形とする）
- (2) 上記の電子ファイルが格納されている電子媒体一式

8 その他

- 1) 当該業務は、契約によるほか、本仕様書に基づき実施すること。
- 2) 当該業務の受託者は、業務を実施するに当たり、県と十分な調整を行うとともに、業務の進行については随時報告すること。
- 3) 当該業務の受託者は、業務を実施するに当たっての一切の責任を持つこと。万一、トラブル等が発生したときは、速やかに問題の解決に当たること。
なお、県は事件解決のため、一切の責任を負わないものであること。
- 4) 成果品についての権利は、県に帰属する。
- 5) この仕様書に定める事項について疑義が生じた場合、又はこの仕様書に定めのない事項については、必要に応じて、県と受託者が協議の上、定めるものとする。